

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	住宅ストック法制度・政策小委員会	主 査 名：高屋 宏 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城 智也
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・空家問題をはじめとし、住宅ストックに対する法制度・政策のありかたを検討するために、現状の問題・課題を把握し、わが国の建築社会システム整備につながる研究を行う。 初年度：各 WG の個別目標の具体化／空き家等の問題・課題の質と量的な把握 2 年度：前年度成果を踏まえた課題の整理／法制度や政策の現状と課題の整理 3 年度：諸外国の事例の研究／実践的研究の実施 4 年度：取りまとめ及び補足研究	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (ただし、応募なし) 主査：高屋宏 (市浦ハウジング&プランニング) 幹事：齊藤広子 (横浜市立大学) 委員：柴田 建 (九州大学大学院)／関栄二 (AGデザイン)／森田 芳朗 (東京工芸大学)／藤木 亮介 (スペースユニオン)／小杉 学 (明海大学)／長谷川洋 (国土交通省 国土技術政策総合研究所)／村上心 (椙山女学園大学)／山本 理 (街と住まいの研究室)／西戸啓陽 (三菱地所コミュニティ)	
設置 WG (WG 名：目的)	マンション・民間賃貸住宅 WG⇒マンション・民間賃貸住宅の管理・再生の適正化 空家資源再生 WG⇒戸建て住宅・住宅地の管理・再生の適正化 公的住宅・団地 WG⇒公営住宅・団地の管理・再生の適正化	
2019 年度予算	75,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：－

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	－
講習会	－
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	－
大会研究集会	1. 研究協議会：建築のリ・スタート 参加者数 79 名 『建築社会システム部門研究協議会資料：同上』 建築・不動産マネジメント小委員会と共催。
対外的意見表明・パブリックコメント等	－
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本年度の活動概要は次のとおり。最終年度の活動目標としていた建築学会大会 (北陸) における研究協議会「建築のリ・スタート」(建築・不動産マネジメント小委員会との合同企画) の準備を兼ねた議論等の場として、4 回の小委員会を開催した。当初の年間活動予定では、10 月以降、2 回程度を実施することとしていたが、次年度以降の小委員会企画に関する幹事会の開催 (10/16、1/24) にとどまったことは反省点である。 ①第 1 回小委員会 (空家資源再生 WG) / 2019 年 6 月 12 日 『E. N. N. 小津氏の金沢市におけるリノベーションまちづくり』

	⇒研究協議会「建築のリ・スタート」の準備として主題解説者と議論。 ②第2回小委員会（3WG+建築・不動産マネジメント小委員会合同）／2019年7月28～29日 『久留米市・柳川市におけるリノベーションまちづくりの現状 視察』 *スペースRデザイン吉原氏の協力による。 ③第3回小委員会（公的住宅・団地WG/空家資源再生WG合同）／2019年7月30日 『スペースRデザイン吉原氏の久留米市コーポ江戸屋敷における取組み他』 ⇒研究協議会「建築のリ・スタート」の準備として主題解説者と議論。 ④第4回小委員会（3WG+建築・不動産マネジメント小委員会合同）／2019年8月5日 『9/4 研究協議会「建築のリ・スタート」における論点等について』 ⇒研究協議会「建築のリ・スタート」の準備として論点の整理ととりまとめの方向性について議論。 ⑤大会研究協議会 建築のリ・スタート／2019年9月4日（金沢工業大学） 2. 小委員会の開催回数は4回にとどまったものの、概ね活動計画に沿った取組みを進めることができた。特に、9/4に開催した研究協議会においては、建築とコンテンツのみならず、それらを媒介し動作を管理するOS（オペレーションシステム）から建築のリ・スタートを構想する必要性が提起され、建築におけるOSの解釈やそのバージョンアップが建築へもたらす作用、また利害関係の調整や建築ストックの再生にかかる法制度の課題等について、幅広い議論が行われた。今後の研究課題について示唆を得ることができたものとする。
委員会活動の問題点・課題	次年度より、本小委員会をベースに数名の新しいメンバーを加え、「住宅ストック活用小委員会」としてスタート。小委員会の発展的継続を考慮し、次世代を担う比較的若手の研究者・実務者をメンバーに加えていくこと。